



「復興の架け橋」といわれる気仙沼湾横断橋の主桁閉合作業が行われました。

この橋は東北地方整備局として初めて、国内で9年ぶりに誕生する斜張橋になります。震災復興のリーディングプロジェクトである三陸沿岸道路のうち、気仙沼道路（気仙沼・唐桑南間の延長9.1km）に架かる橋梁です。主桁から張られたケーブルで橋桁を支える美しい形状は、さらなる復興を指す気仙沼市のシンボルとして期待されています。東北北の場合、アーチ橋やトラス橋はありますが、海や港を跨ぐようなシンボリックな長大橋はほとんどありません。今回、気仙沼で初めて湾を跨ぐ道路ができました。

主桁閉合式を開催した日は天気が良く金華山まで見えたことが印象に残っています。小学生にメッセージを書いたり、復興のシンボルとして地域の皆さんが心から喜び、そして橋の開通に大きな期待を寄せていることを実感しました。特に気仙沼の場合は昨年開通した気仙沼大橋に続いて気仙沼湾横断橋があるだけで、生活の利便性が高まるだけでなく観光や経済などに大きな効果があります。横断橋が開通すると気仙沼で橋を挟んだ両側が結ばれ、まちの一体感が生まれる。年度内の開通に向け、これから床版、防水、舗装、道路標識など小規模な工事や周りの整備といった最終段階です。ここまでくれば開通も見えてきます。19年度から2巡目に入り、

## 「8月4日橋の日」特別企画 東北地方整備局道路部長 酒井 洋一氏 インタビュー

1年間で923橋点検しました。Ⅲ判定は84橋、Ⅳ判定はありませんでした。橋梁の延命化と補修・架け替え費用の縮減を図るため、これからの時代は事後的に保全ではなく予防保全的にメンテナンスする必要があります。このほか東北で主要な橋は、いくつか長大橋があります。復興道路の関係では、多賀城の高架橋が3700mでつなげています。2016年3月に開通した仙台港北ICも利府ICの4車線道路です。また、東北中央自動車道相馬福島道路の今田高架橋が19年度に開通しました。常磐自動車道と接続する相馬IC近くにある橋長784.6mの高架橋です。起点の相馬ICから入るとすぐ右側に大きく弧を描き、直線にならずに常磐道の上を跨ぐ格好になります。東北中央道と常磐道が繋がると、浜通りと中通りが一体的になる象徴的な橋です。逆に東北道側では8月2日に桑北道から海側に向かう大きなJCTです。それぞれ道路を跨いだり、新幹線を跨ぐ。そういったところでは象徴的に結ばれます。東北中央道で福島から山形、太平洋側と日本海側をつなぐ横断橋が結ばれ、地域のつながりが生まれるということが大きいと思います。

### 橋は未来への絆

酒井部長は、14年度に始まる点検は、18年度に始まり18年度で1巡目が終了しました。東北管内の点検総数は4027橋、Ⅰ～Ⅳまで判定基準がありⅣが緊急措置段階、Ⅲ判定が1橋、Ⅱ判定が495橋、Ⅰ判定が1506橋となっており、このうちⅢ、Ⅳと判定された496橋の修繕状況は、着手率68%、完了率29%です。19年度から2巡目に入り、

## 復興のシンボル 気仙沼湾横断橋

「橋の日」は1986年、橋梁会社に勤務していた湯浅利彦氏の提唱で、宮崎「橋の日」実行委員会が制定し、日本記念日協会より記念日として認定・登録された。8月4日を「は(8)し(4) (橋)」と読む語呂合わせで、郷土のシンボルである河川とそこに架かる橋を通じて、ふるさとを愛する心と河川の浄化を図ることを目的としている。同委員会は、86年に宮崎県延岡市で「第1回橋の日」イベントを開催、「橋の日の歌」の制作など活動は全国に広がり、その功績が認められ2015年に日本記念日協会から「記念日文化功労賞」を、また29年間続けた道路清掃活動に対して日本道路協会より表彰されている。



気仙沼湾横断橋の主桁閉合式



気仙沼湾横断橋のプレキャスト

「橋は未来への絆」という言葉を書きました。橋は瞬間にできあがってつなぐが、将来にわたって長く使われる。今の世代が将来に残す、絆を結ぶようなことだと思えます。特に橋がなかったところで文化圏が違ってくる。人と人をつなぐ、それが文化のつなぐことになる。たぶん橋はそのためにつくっていくのだと思います。例えば四国地方と中国地方は

全く違う文化圏ですが、連絡橋でつながってからは一体感があります。対岸同士でも協力し合うと、瀬戸内全体としていろいろなマナーが出てきています。

橋をつくる新しい技術とは、働き方改革、生産性革命の一環としてICT技術、3次元設計の活用が本格的に始まっています。3次元モデル、BIM/CIMを使うと、橋を組み立てる前に橋の干渉する部分などが分かります。維持管理もどこに弱点があるかをあらかじめ見極めることができます。いままでの紙では専門的な見方があるのかと、新鮮な気持ちになりました。日本だけではない海外の橋もあり、いろいろな写真を見たのかもしれない。災害で壊れた状態の模型もありました。普通だったら壊れた橋はつくりません。本州四国間白いので、こんな橋はあつてはいないよね、というところでしょうか。彼らなりに安全・安心の考えが育っているのだと思います。

また、過去に参加した生徒の中から整備局に入った職員がいます。若い人たちに橋をきっかけにして土木や公共事業に興味を持ってもらおうという意味では効果があつたのではないのでしょうか。

「橋は未来への絆」という言葉を書きました。橋は瞬間にできあがってつなぐが、将来にわたって長く使われる。今の世代が将来に残す、絆を結ぶようなことだと思えます。特に橋がなかったところで文化圏が違ってくる。人と人をつなぐ、それが文化のつなぐことになる。たぶん橋はそのためにつくっていくのだと思います。例えば四国地方と中国地方は

全く違う文化圏ですが、連絡橋でつながってからは一体感があります。対岸同士でも協力し合うと、瀬戸内全体としていろいろなマナーが出てきています。

橋をつくる新しい技術とは、働き方改革、生産性革命の一環としてICT技術、3次元設計の活用が本格的に始まっています。3次元モデル、BIM/CIMを使うと、橋を組み立てる前に橋の干渉する部分などが分かります。維持管理もどこに弱点があるかをあらかじめ見極めることができます。いままでの紙では専門的な見方があるのかと、新鮮な気持ちになりました。日本だけではない海外の橋もあり、いろいろな写真を見たのかもしれない。災害で壊れた状態の模型もありました。普通だったら壊れた橋はつくりません。本州四国間白いので、こんな橋はあつてはいないよね、というところでしょうか。彼らなりに安全・安心の考えが育っているのだと思います。

**橋の日(8月4日 記念日)**  
「橋の日」は1986年、橋梁会社に勤務していた湯浅利彦氏の提唱で、宮崎「橋の日」実行委員会が制定し、日本記念日協会より記念日として認定・登録された。

**株式会社 駒井ハルテック**  
代表取締役 奥田 岳史  
東北営業所 / 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-1-29  
TEL:022-227-8724 FAX:022-214-2570

**株式会社 松田組**  
代表取締役会長 松田 庄治  
代表取締役社長 松田 孝一  
〒999-2232 山形県南陽市三間通1248  
TEL:0238-43-5311 FAX:0238-40-3355

**大日本コンサルタント株式会社**  
NIPPON ENGINEERING CONSULTANTS CO.,LTD.  
執行役員東北支社長 向田 昇  
〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35 東京建物仙台ビル16F  
TEL:022-261-0404 FAX:022-261-0414

**株式会社 菅原工務所**  
代表取締役 菅原 靖  
〒998-0856 酒田市東栄町12番44号  
TEL:0234-22-5422 FAX:0234-23-7034  
URL:https://www.sugako.co.jp

**山和建設株式会社**  
代表取締役 小山 剛  
〒999-1332 山形県西置賜郡小国町大字町原93番地1  
TEL:(0238)62-3623 FAX:(0238)62-5402  
http://yamawa-kensetsu.com

**株式会社 ナカセン**  
代表取締役会長 鈴木 喜亮  
代表取締役社長 鈴木 幸嘉  
本社 / 秋田県大仙市長野字柳田69-1  
TEL:0187-56-2262  
秋田営業所 / 秋田県秋田市河辺和田字岡村358-1  
TEL:018-893-3533  
東北営業所 / 宮城県仙台市青葉区栗生五丁目16-10  
TEL:022-393-6985

**十和建设株式会社**  
代表取締役社長 今野 勉  
本社 / 〒997-0802 山形県鶴岡市伊勢原町25-2  
TEL:0235-23-1282 FAX:0235-23-9918 URL:http://towag.jp

**株式会社 吉田測量設計**  
代表取締役社長 吉田 久夫  
本社 / 〒020-0861 岩手県盛岡市仙北一丁目3番13号  
TEL:019-635-1740 FAX:019-635-1747  
支店 / 宮古・一関・釜石・北上・水沢・花巻・仙台・秋田・東京  
営業所 / 二戸・久慈・大船渡

**株式会社 復建技術コンサルタント**  
代表取締役 菅原 稔郎  
本社 / 〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目7番25号  
TEL:022-262-1234(大代表) FAX:022-265-9309  
URL:http://www.fgc.jp/  
支店 / 青森、盛岡、秋田、仙台、山形、福島、東京、関西  
営業所 / 札幌  
事務所 / 函館、三陸、五輪、福島浜通り、埼玉、千葉、神奈川、北陸、名古屋、三重、滋賀、奈良、広島、熊本

**株式会社 インテック**  
代表取締役 丹野 仁  
本社 / 〒960-0101 福島県福島市瀬上町宇野町3-3-7  
TEL:024-563-7822 FAX:024-563-7826

**青木あすなろ建設**  
東北支店  
執行役員支店長 沖 二郎  
〒982-0011 仙台市太白区長町三丁目7番13号  
TEL:022-748-0557

**FCI(A)インサート**  
■FCI(A)インサート (セラミックス製)  
■WTスぺーサ (クリップ付)  
■スパイラル・シース (鋼製)

**川田工業株式会社**  
代表取締役社長 川田 忠裕  
東北営業所 所長 山田 克輔  
東京本社 / 東京都北区滝野川一丁目3番11号  
TEL:03-3915-4321 FAX:03-3915-7589  
東北営業所 / 仙台市青葉区中央一丁目6番35号  
TEL:022-222-3225 FAX:022-222-3226

**川田建設株式会社**  
東北支店 支店長 日野 善広  
〒980-0021 仙台市青葉区中央一丁目6番35号  
TEL:022-261-7412 FAX:022-268-1561

**一般社団法人 PCM工法協会**  
事務局 / 前田工機株式会社本社内 東京都港区芝公園2-4-1芝パークビル12F ☎03-3578-3277  
復興・復旧からインフラメンテナンスの時代へ  
PCM工法協会はコンクリート構造物の補修・補強を通じて社会に貢献します  
「PAE系ポリマーセメントモルタルを用いたコンクリート構造物の補修・補強に関する設計・施工指針」はPCM工法協会の発行です。  
PCM工法協会東北支部員  
日建工業株式会社(理事) 岡崎建設株式会社 株式会社 菅原 原 組 置賜建設株式会社  
宮城県仙台市青葉区二丁目16-9 秋田県大仙市長野字柳田19-2 秋田県大仙市大字沢387-1  
☎022-221-4576 ☎0187-72-4545 ☎0238-23-6411  
田中建設株式会社 株式会社 オリテック21 株式会社 杜都エンジニアリング 東関クレック株式会社  
青森県十和田市東一丁目2-50 岩手県盛岡市中央通り1丁目17-20 岩手県盛岡市宮城野区白の辻町2-4-20 岩手県盛岡市宮城野区白の辻町2-4-20  
☎0176-23-3921 ☎0187-62-8376 ☎022-782-3190 ☎024-962-2282  
株式会社 柏崎 組 高吉建設株式会社 フォー株式会社 福進工業株式会社  
宮城県仙台市青葉区大町6-6 秋田県秋田市河辺和田字岡村358-1 宮城県仙台市青葉区三丁目20-30 宮城県仙台市青葉区大町6-6  
☎0178-50-6511 ☎0187-62-4321 ☎022-244-4911 ☎0246-56-3500  
岩手建工株式会社 角館建設工業株式会社 リック株式会社 北商物産株式会社  
岩手県盛岡市神町10番25号 秋田県仙北市角館町小野田小倉前25 山形県東村山郡中山町大字長崎4145-1 仙台市青葉区北極3-23-26  
☎019-651-6903 ☎0187-54-3184 ☎023-662-5255 ☎022-276-1015  
■お問合せ/前田工機株式会社 仙台支店 宮城県仙台市青葉区国分町1-6-9 ☎022-726-6670

**Rope Stroller | ワイヤ吊り下げ型目視点検ロボット**  
・ワイヤ架設より多様なインフラの点検が可能  
・専門オペレータを必要としない簡単な操作性  
・作業時間の大幅短縮  
・点検データからAIによる損傷箇所を検出  
NETIS 点検支援技術性能カタログ(案)  
品番 BR010008-V0020  
IoT ネットワークカメラ | インフラ環境別 監視・観測カメラ  
・電源供給が難しい場所での定点監視・観測  
・水位計、傾斜計、温度湿度、各種センサーとの連動可能  
・導入事例: 現場事務所、施工現場、点検現場、河川観測  
・月額15,000円/台〜ご提供  
点検支援技術性能カタログ(案)  
品番 BR030006-V0020

**iXs 株式会社イクシス**  
~ロボット x テクノロジーで社会を守る~  
Digital Twin Company  
●社会・産業インフラ向けロボット ●取得データのAI解析サービス  
●3D-Data Solution(BIM/CIM ロボット連動・3次元データ作成等)  
●i-Construction - 建設生産の全プロセスに対応したソリューション  
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2-8-11  
URL: https://www.ixs.co.jp/  
加盟団体・採択実績  
●一般社団法人日本ディープラーニング協会正会員  
●NEDO "Connected Industries 推進のための協働領域データ共有・AIシステム開発促進事業"  
●土本研究所 "AIを活用した道路橋メンテナンスの効率化に関する共同研究"  
●NEXCO 中日本 "i-MOVEMENT" 重点テーマ研究会 "橋梁点検向け三次元形状計測・生成・解析" 代表  
●i-Construction 推進コンソーシアム  
お気軽にご相談ください  
☎022-302-3257  
E-mail: info@ixs.co.jp